

第5次越谷市障がい者計画(素案)に対する専門分科会委員からの意見等一覧(追加分)

第1回障害者福祉専門分科会
第2回児童福祉専門分科会
【資料6】

「対応の種別」欄の凡例:意見→ご意見として承ります。 修正→ご意見を踏まえ、会議終了後に修正します。

No.	ページ	項目名	意見等の主旨	市の考え方・対応	対応の種別
20	59	①-1 乳幼児等健康診査事業の 充実	現在、明石市では新生児聴覚スクリーニング検査が普及し、ほとんどの新生児が検査を受けている。越谷市においても同様の事業を行ってほしい。	本市では、令和3年度から新生児聴覚検査を導入する方向で、現在埼玉県と協議を行っております。 なお、新生児訪問時の問診では、約73%の児が新生児聴覚検査を受検しています。	意見
21			新生児検診等について、聴覚に障がいのある子どもである場合は、妊娠期から乳幼児期まで子育て支援を担当する保健師の職員と手話通訳士が連携し、親子と面談したり、家庭訪問をしたりするなど、支援の際に配慮をしてほしい。	本項目の他、乳幼児等健康診査事業及び母子健康づくり事業とも関連があり、関係担当課が連携し事業の充実に取り組んでいます。ご指摘のあった支援の際の配慮については、聴覚に障がいのある保護者や子どもとの面談、訪問等の際には、本人の意向による手話通訳者等の同席の他、筆談やメール・ファックスなどのコミュニケーションツールが選択できる体制となっております。 計画素案の取り組み内容の記載には、このことが含まれていると認識しております。	意見
22	62	②-6 障がい児支援事業の充実	福祉、医療分野だけでなく、幅広く地域の社会資源に関する情報提供を行うとともに、保護者や兄弟の手話学習を支援するなど、部署を超えた連携を図りながら支援を充実してほしい。多くの保護者が頼れるのは医師だけというのが現状で、医師から人工内耳を勧められることがほとんどとなっている。	「越谷市の障がい者福祉ガイド」、「こしがや子育てガイドブック」を作成し、福祉、医療分野の情報提供の他、教育分野や年齢別の主な子育てサポートなどを掲載しています。また、市民参加型の子育てポータルサイト「こしがや子育てネット」では、講座・イベント情報を含め子育てや教育に関する情報をわかりやすく、タイムリーに発信しています。障がい児の在宅生活における支援事業の充実に取り組み、幅広い地域の社会資源に関する情報の周知に努めていきます。 計画素案の取り組み内容の記載には、このことが含まれていると認識しております。	意見